

平成30年度から「敬老会」の開催方法が変わります

各地区で開催してきた「敬老会」は、参加者の減少や企画運営担当者の高齢化・負担増など多くの意見を受け、昨年10月に「白石市敬老事業のあり方に関する懇談会」を開催しました。協議した結果、敬老会は本年度から自治会やまちづくり協議会などが主催し、敬老行事の開催に対して市が補助金を交付することになりました。開催を希望する自治会などは、長寿課へご相談ください。

「白石市在宅高齢者福祉サービス」をご利用ください

市が行っている、主な「在宅高齢者福祉サービス」をご紹介します。ご利用には申請が必要です。

事業名	サービス内容 (①:内容 ②:対象者 ③:費用など)
高齢者等 安心見守り事業	①ひとり暮らしの高齢者宅に緊急通報端末を設置し、緊急通報を受けた受信センターが救急車を手配したり、あらかじめ登録いただいている協力員に駆けつけを要請したりします。さらに24時間間隔で利用者の動きを感知する安否確認センサーも設置するほか、医療・福祉などに関する無料相談や月1回のお元氣コール、災害時の安否確認などを実施します。 ②65歳以上の病弱なひとり暮らしの方、またはひとり暮らしの重度障害者 ③1カ月500円(通常の電話料や自己都合による移設、機器の紛失などは実費負担となります。申請には緊急時に駆け付けられることができる「協力員」3人が必要です)
ほっとくらぶ (生きがいデイサービス事業)	①スパッシュランドしろいし(ほっとくらぶ・スパ)や薬師の湯(ほっとくらぶ・薬師)で、生活指導、レクリエーション・軽スポーツ、趣味・教養活動、送迎、昼食、入浴などを行います。活動時間は、10:00～15:00。毎週1回で月4回利用が基本です(2施設を週替わりで交互に利用)。 ②65歳以上で介護保険認定者や総合事業に該当しない方 ③1回1,000円(調査後に診療情報提供書を提出してください)
自立者支援 ショートステイ事業	①月3泊4日を限度に特別養護老人ホームでお預かりします。送迎は行いません。 ②65歳以上で介護保険に該当しない方 ③1日2,500円(食費・居住費など別途必要)、ご利用の3ヶ月前まで要申請。
救急医療 情報キット配布事業	①高齢者世帯などの希望者に救急医療情報キットを無料配布します。かかりつけ医・服薬情報・緊急連絡先などの情報を記載した用紙を冷蔵庫に保管し、万が一の救急時に備えます。 ②65歳以上の高齢者世帯または災害時要援護者台帳に登録されている方 ③無料(無料の方の申請は、各地区公民館でも申請できます) ※対象者以外で希望する方には、200円で有料配布します(申請は、長寿課・市民課福祉窓口のみ)。
在宅老人等 紙おむつ給付事業	①指定した薬局などから限度額内の紙おむつなどを給付します。 ※給付限度額(月額) 市民税非課税世帯に属する方4,000円、市民税課税世帯に属する方2,000円 ②65歳以上のねたきりの方(要介護3以上)、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲa以上の方、身体障害者手帳1・2級(障害部位によります)を所持している方 ③給付限度額との差額は利用者負担です。
訪問理容サービス事業	①理容師が自宅まで訪問し理容サービスを提供します(理容師の送迎費用は市が負担)。利用回数は3カ月に1回です。 ②65歳以上のひとり暮らしまたは高齢者世帯の方、要介護3以上の認定を受けた方 ③理容料金(3,000円)は利用者負担です。
寝具類等洗濯乾燥消毒 サービス事業	①1回当たり掛布団1枚、敷布団1枚、毛布1枚の洗濯乾燥消毒を行うサービスです。布団などは自宅まで回収、配達します(年2回実施。洗濯期間は2週間程度)。 ②65歳以上の方で、要介護3以上の認定を受けた方 ③委託料の1割(本年度は1枚あたり216円)が利用者負担です。

「生活支援コーディネーター」が地域の活動を支援します

☎長寿課 ☎22-1361

近年は介護保険サービスが充実し、多くの方が利用しやすくなった反面、ご近所の付き合いや地域とのつながりが薄れてきていませんか？住み慣れた地域で自分らしく生活するためには、住民同士がつながり支え合い、生きがいを持って元気に過ごせる地域づくりが必要です。

「生活支援コーディネーター」は、このような地域づくりを目的に地区ごとに配置され、まちづくり協議会や地域団体などと連携し、地域の活動を支援していきます。

平成30年度から、新たに各地区に第2層生活支援コーディネーターが配置される予定です。地域ごとの課題や必要な支援について、地域の方々とともに意見を出し合い、問題提起し、地域づくりの目標に向け、さまざまな活動をつなぎ組み合わせる調整役として活動します。

※第1層とは、市内全域のこと。
※第2層とは、日常生活圏域(公民館や中学校がある地区)のこと。



【小原地区担当】第2層 生活支援コーディネーター
し か ま
四 竈 三 工 子 さん

小原地区は高齢者が多い地区ですが、元気な方がとても多く、検断屋敷まつりや敬老会、グラウンドゴルフなど、活発に活動を続けています。しかし、移動手段がなく参加できない方が多いのが課題のひとつだと思います。このようなさまざまな課題があると思いますが、自治会や公民館の皆さんと連携し、地域の方々に協力をいただきながら、地域の課題に向き合っていきたいと思っています。



【斎川地区担当】第2層 生活支援コーディネーター
な り さ わ ず か ず
成 澤 一 男 さん

斎川地区ではいきいき教室やふれあいサロンなど、高齢者が集まり楽しめる行事を行っています。参加者が少なかったり固定されていたりするため、人の輪をいかにして広げていくかが課題だと思います。これから住民アンケートを行い、地域の良いところや抱えている課題、地域に求められていることなどを把握し、まちづくり協議会などの各団体と連携して地域づくりに取り組んでいきます。

【白石市全域担当】第1層 生活支援コーディネーター
白石市社会福祉協議会 地域支援係
や ん べ っ ち め
山 家 結 美 さん (左)、さ の
佐 野 り つ 子 さん (右)

平成28年度から白石市社会福祉協議会が全域を担当する第1層コーディネーターとして活動しています。各地区の第2層コーディネーターと連携し、地域の方々の協力のもと、地域づくりを支援していきます。

